

総 説

1 村の概況

①村の沿革

明治22年4月町村制が施行され、森下村・椋久保村・川額村の3か村が合併し久呂保村として、また、糸井村・貝野瀬村が合併して糸之瀬村として発足、その後、昭和23年4月勢多郡赤城村（旧敷島村）の一部を久呂保村に吸収合併した。

昭和33年11月1日久呂保村・糸之瀬村の両村が合併して昭和村が誕生し、その後、昭和36年8月1日利根村（現沼田市利根町）の大字生越を境界変更により吸収し現在に至る。

②地勢及び気候

本村は利根郡の最南端にあって赤城山北西麓に位置し、西は利根川、東は沼田市利根町（旧利根村）、北は片品川を隔てて沼田市に接し、南は渋川市赤城町（旧勢多郡赤城村）に隣接している。

東西10.8km、南北9.8kmの扇状の形態である。

標高は海拔260mから1,461mとなっており500mから800m付近までゆるい傾斜をなし、赤城高原を形成している。

また、東北から流下する片品川は、北西からの利根川に合流し南西へ進み関東平野へと流れ出る。

気温は平均11.6℃、最低は1月下旬から2月中旬にかけて－5℃から－10℃まで下がる。また、7月下旬から8月上旬にかけて30℃前後を示し、初雪は11月下旬から降ることもまれにある。晩霜は5月下旬まであり、根雪は4か月におよび、4月上旬まで春雪を見ることがある。耕土は平均30cmから50cmあり、大部分が火山灰土である。

③役場位置及び交通手段

（東経139度4分8秒、北緯36度38分12秒、海拔345m）

役場は、大字糸井388番地にあり、県道下久屋渋川線と県道沼田赤城線の交差するところに位置している。

公共交通としては、JR上越線沼田駅またはJR上越新幹線上毛高原駅で下車、利根片品路線バスにて上之町停留所で下車する。そこから永井線、中野生越循環線、赤谷桜循環線の本村行きバス路線があり、役場前停留所までの乗車時間は約15分である。

関越自動車道を利用する場合は、昭和インターチェンジから出ると県道も整備され、役場まで約10分と便利になった。

④村の面積

64.17平方キロメートル

⑤地目別面積

合計	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	国有林	その他
64.17	0.73	25.57	2.94	9.59	1.15	2.23	10.91	11.05

(単位：平方キロメートル)